

## 式辞

柔らかく輝く石鎚の稜線にも春の訪れが感じられ、バラ園のつぼみも日ごとに膨らみを増す今日の佳き日、御来賓の皆様の御臨席を賜り、愛媛県立東予高等学校第六十四回入学式を、かくも盛大に挙行できますことは誠にありがたく、厚くお礼を申し上げます。

ただ今入学を許可しました45名の新入生の皆さん、入学おめでとうございます。皆さんの入学を、在校生並びに教職員一同、心から歓迎します。

本校は昭和三十七年に、地場産業を担う技術者育成の期待を受けて設立された今年で六十四年目を迎える学校です。西条市唯一の工業教育を行う高校として、地域の産業界で活躍できる職業人を育成し、地域社会を支える多数の先輩方を輩出してまいりました。皆さんは本校に入学できたことを誇りに思うとともに、本校の生徒として、これからの三年間、日々の学習や実習はもちろん、資格取得やコンテスト、学校行事、そして部活動などに意欲的に取り組み、充実した高校生活を送ってほしいと思います。

本校の校訓は「創意・勤勉・責任・協調・温雅」です。この五つはものづくりにとって欠かせないものです。知識や技術は一朝一夕に身に付くものではありません。失敗を恐れず挑戦し、そこで失敗したら創意工夫してまた挑戦するのです。失敗は途中であきらめるから失敗なのであって、その原因を明らかにして分析し、もう一度準備をしっかりと行って挑戦し続ければ、いつか成し遂げられます。そうやって世の中の技術は継承され、進歩してきました。新入生の皆さんにも、このものづくりの心を持ち、自分の可能性に限界を設けることなく、どんどん新しいことに挑戦して、学び続けてほしいと思います。

もちろん、学ぶことはいつも楽しいとは限りません。うまくいかないこと、悩むこともたくさんあるでしょう。そのときに、それらを乗り越える最も良い方法は何でも話せる真の友を持つことです。共通の目標のもとに力を合わせ、励まし合うことで、共に喜び、共に泣くことのできる本当の友ができます。そして、その友と互いを敬い、協力し合えば、自分たちの想像を越える大きな成果を生み出すことができるのです。

新たな環境で新しい友達や先生方との出会いを大切にし、人間として大きく成長してください。皆さんがこれからの三年間で「思いやりの心」と「たくましく生きる力」を身に付け、地域を愛し、地域に愛され、日本ひいては世界の新しい時代の担い手へと成長していくことを切に願っています。

最後になりましたが、保護者の皆様、お子様のこれからの三年間は変化と成長が最も激しい大事な時期です。これから一步一步自立の道を歩むことになるお子様に、心優しく、生きる力を身に付け、たくましい若者に育ってほしいという思いは、保護者と教職員の共通の願いです。私たち教職員は三年後に「東予高校に来てよかった」「東予高校に行かせてよかった」と言っていただけるよう精一杯力を注いでまいります。どうか本校の教育への御理解と御協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

結びに当たり、新入生の皆さんのこれからの学校生活が充実したものとなりますよう心から祈念して、式辞といたします。

令和七年四月八日

愛媛県立東予高等学校長 檜垣 知美